

# 白馬村議会だより 100号によせて



昭和62年副議長  
矢口 幸利

白馬村議会だより、第100号、誠におめでとございます。私が副議長職であった昭和62年のとき、議会の内容を広く村民に良く知っていただくために、議会報を発行することになりました。

全員協議会で何度も協議を重ね、同年9月15日付ユートピア第1号として発刊に踏み切ったと思います。

以降歴代の議員の皆様のご努力により、今回発行誌が第100号とお聞きし大変嬉しく、また、今思えば村民に親しまれる議会報になって、本当に喜ばしく思います。

今後も村民に親しまれ、喜んでいただける議会報誌になるようお願いしております。

白馬 議会だより

第1号 昭和62年9月15日発行

発行：長野県白馬村議会 編集：ユートピア白馬委員会 電話：0261-72-6000

第1号 昭和62年9月15日発行

# 第18回冬季五輪開催 都市決定を振り返る



平成3年議長  
武田 豊

白馬村議会だよりを輝く情報誌に立派に育て上げて、100号発刊にいたしました。偉業に心から敬意とお慶びを申し上げます。

この度、1991年6月15日第97回IOC総会で、第18回冬季五輪開催都市「シティーオブ長野」決定への思い出のテーマをいただきました。

勝利の瞬間の歓喜と全身が震えるような感動でした。IOC委員88名の投票結果は、過半数決定まで5回目の投票は46対42で、ソルトレークシティと僅小差での勝利でした。当時は世界経済も好調で日本は正にバブル期にあり、吉村午良招致委員長のもと、県や国をあげて招致運動は熾烈を極めました。投票結果を

見ると、競技会場地白馬村が果たした役割の大きさが見えてきます。日仏開催のJIFAS映画祭であり、昭和61年横沢村長のもとで冬季オリンピック招致成功を見据えると同時に、国際的地歩を固めるべく西洋文化のメツカ、フランススキー本部を置くアヌシー市と提携して「冒険とスポーツ映画映像祭」を相互開催に合意。平成2年10月西沢村長就任と共に引き継がれ、平成3年の5月塩の道祭りに併せ、開催都市決定に村民挙げて盛り上げ、翌月バーミングガム長野招致決定に大きな弾みをつけました。

白馬 議会だより

第17号 平成3年10月15日発行

発行：長野県白馬村議会 編集：ユートピア白馬委員会 電話：0261-72-6000

第17号 平成3年10月15日発行

人口9千人の村ながらアヌシー市と対等に渡り合えたのは、代々優れた首長のもと村民こそってボランティア精神に徹し、支え合い大イベントを見事にこなし、村の発展に偉大な貢献をしたものと信じて疑いません。

天恵を頂いた大自然の妙なる演出は、招致の実現に向かって絶大な自信を与えられたもので、4ヶ月後の冬季オリンピック招致成功に大きな力になったことだろうと確信しました。